一人一花運動について

ひとり ひとはな

一人一花運動

一人ひとりが、一花育てて 福岡市を花でいっぱいに

市民・企業・行政一人ひとりが花と緑を育て、公園や歩道、会社、自宅など、

福岡市のありとあらゆる場所を花と緑でいっぱいにする取り組み、それが『一人一花』運動です。

市民の地元への愛が強い福岡市だからこそ、みんなで力を合わせれば、

花の街「フラワーシティ福岡」を創ることができるはずです。

日々の暮らしの中に美しい花と緑があれば、あなたの心もきっと豊かになります。

『一人一花!』『一企業一花壇!』を合言葉に、福岡市を花と緑いっぱいにしていきましょう。



福岡市 住宅都市局 一人一花推進課

コンパクト・リバブルシティ



まちの価値をさらに高め次のステージへ!!!

アジアのリーダー都市へ



市民や企業の皆さまとの 共創によるまちづくりツールとして 取り組みやすいもの

↓ 好き・嫌いの差があまりなく **多くの人が親しめる・楽しめる** ものが望ましい

一度きりの取組みではなく 継続していけるもの

↓ 作って終わりではなく 愛着がわくものが 望ましい

そう, 花です!

年齢や性別, 国籍など関係なく 誰もが楽しめる。親しめる

究極の グローバルスタンダードな ツール!

花で共創のまちづくり

さらに住みやすく、心が豊かで つながりのあるまちをつくる

まちの魅力や価値を高める

※共創のまちづくりの実現のための手段!!! (花や花づくり, 運動自体が目的ではない)



「花<u>で</u>共創のまちづくり」が 実現したフラワーシティ福岡

花の価値や花が持つ力, 花づくりが何を生み出すか などについて,理解し 実践する人が増える

まちづくり ツールとして 定着

花を目にする人, 花づくりに 取り組む人が 増える

ムーブメント ・機運醸成 2019~"定着"

持続可能な仕組みを確立する

花づくりや 花自体が 主語・主役

2018 "始動"

まずはインパクトを与え裾野を広げる

花(緑)<u>の</u> まちづくり 【都心部】 スポンサー花壇

【身近な拠点】 区役所花壇など身近な拠点での花づくり

【民有地等】 一人一花スプリングフェス, 一人一花サミットの開催 等

地域や企業・団体の中で 大人から子どもまで一緒に花づくりをすれば



生きがいや健康, 地域コミュニティづくり・多世代交流の場に!

多くの人が行き交う 都心部やゲートウェイを花で飾れば











おもてなしの景観づくりにもなる!

今年開催のG20蔵相会議や ラグビーワールドカップに向けて ゲートウェイ等で、おもてなしの花壇づくり予定



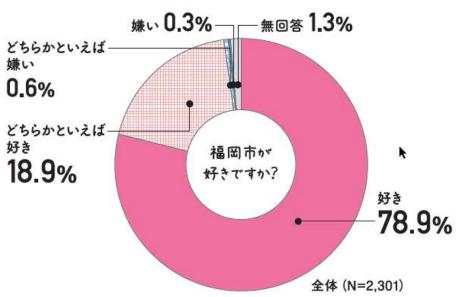


福岡市のことが「好き」、「何か役に立ちたい」と思っている福岡市民がたくさんいる

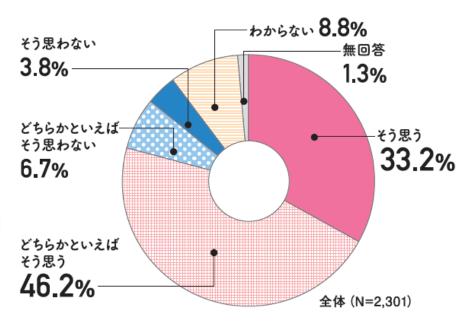
【Q. 福岡市のことが好き?】

【O. 市民や訪問者のために何か役に立ちたい?】

『好き』*と答えた人は - 97.8%!



『何か役に立ちたい』 79.4%!



出典:平成30年度 市政に関する意識調査(福岡市)

福岡市ならきっとできる!

この状況を踏まえ

「おもてなしの景観づくり」と

「共創のまちづくり」などの観点から、

都心部等

身近な拠点

民有地

の3つの場所で 一人一花運動を展開中

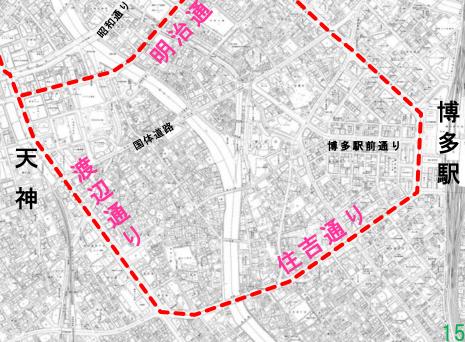
身近な拠点

民有地

天神・博多駅などの福岡都心部やゲートウェイ(空港・駅・港)など、多様な人々が行き交う場所で、 ***
シンポリックな花壇を演出

まず,都心部の4つの通りの 交差点や横断歩道部に 120箇所の花壇を新設





身近な拠点

民有地

120箇所(155ロ分)の協賛企業を公募 「この花壇は●●企業の協賛でお贈りしています」



協賛いただいた花壇には 企業名入りの 特製プレートを設置

「一企業一花壇」

彩りと潤いのあるまちづくりに 参画しています。



ロゴ・社名

身近な拠点

民有地

協費(寄付)金額=花壇管理費相当額+α

156社168口

(2018年に**138**社増) ※2019年3月末時点



協賛メニュー	協賛金の使途	協賛金額 (1年分)	募集数
ー人一花 <mark>プレミアム</mark> スポンサー	スポンサー花壇 管理費用 + 一人一花運動 全般への支援費	20万円/口 + 40万円	10 _口 程度
ー人一花 ゴールド スポンサー	スポンサー花壇 管理費用 + ー人一花運動 全般への支援費	20万円/口 + 20万円	10 _口 程度
一人一花 スポンサー	スポンサー花壇 管理費用	20万円/口	155□

◆+ α 分(プレミアム, ゴールド)の使途

- ・ボランティア花壇の苗購入費 等への助成(設置するプレートに 企業名を記載;右図のイメージ)
- ·一人一花関連イベントでの 花の装飾作製等
- ・配布グッズ(花の種等)作製



身近な拠点

民有地

市役所・区役所庁舎や、公園などの公共施設をはじめ、多くの人の目に触れる"身近な拠点"での花づくり









身近な拠点

民有地

身近な公園や道路などの公共空間でも市民のみなさまによる花壇づくりができる仕組み

「ボランティア花壇」制度

171団体

(2018年に **5 4 団体増**) ※2019年2月末時点

ボランティア花壇として利用可能な公共空間の例

香椎駅前西公園



東平尾公園



荒戸交差点





大橋駅西口広場



野間大池前交差点



九大学研都市駅北口広場

身近な拠点

民有地

【春】 【秋】 一人一花スプリングフェス 一人一花サミット







身近な拠点

民有地

一人一花スプリングフェス



魅せる (かざる)



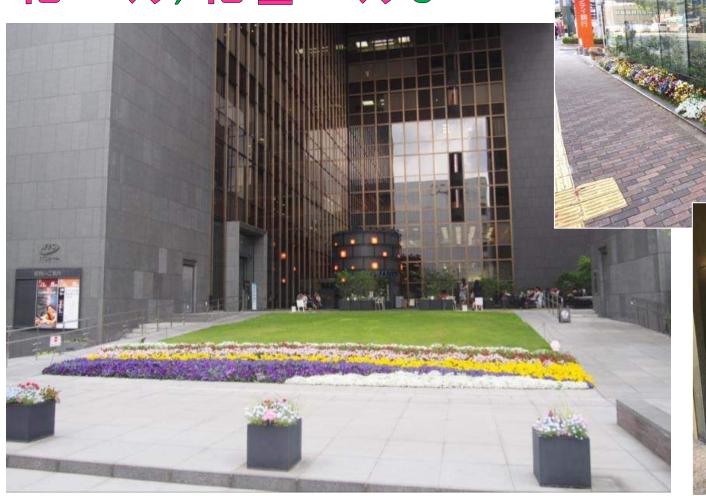
生みだす(つくる)

広がる(広げる)

身近な拠点

民有地

企業独自の,敷地内で 花づくり,花壇づくりも





身近な拠点

民有地

企業による花のタネの配布・球根等の 懸垂幕やのぼりのなどでの口道を





身近な拠点

民有地

お店や会社など民有地での花壇づくりこそ一人一花! つなぐ仕組み「一人一花パートナー花壇」制度

地域や民間の場所にある「これぞ一人一花!・一企業一花壇!」といえる素敵な花壇

約140団体



身近な拠点

民有地

福岡ソフトバンクホークスも 「一人一花パートナー花壇」登録!









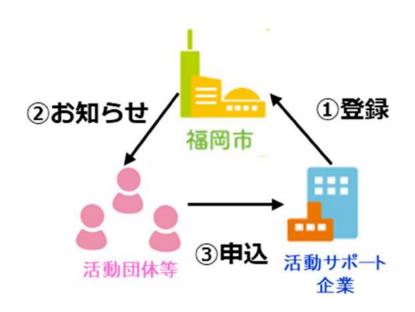
「ホークスみんなのガーデニングコンテスト」開催

- ヤフオクドームにmy花壇
- 10万円の補助
- 6月下旬完成予定

市民や団体の花づくり活動等を「民の力」でサポート!

一人一花の輪を広げる新しい仕組み

「一人一花活動サポート企業制度」



サポート企業の支援の例

- ・花苗・資材等の割引
- ・花壇デザインのアドバイス
- ・植付けや植替,管理作業補助



一人一花運動として花づくり 活動を行う市民や団体など

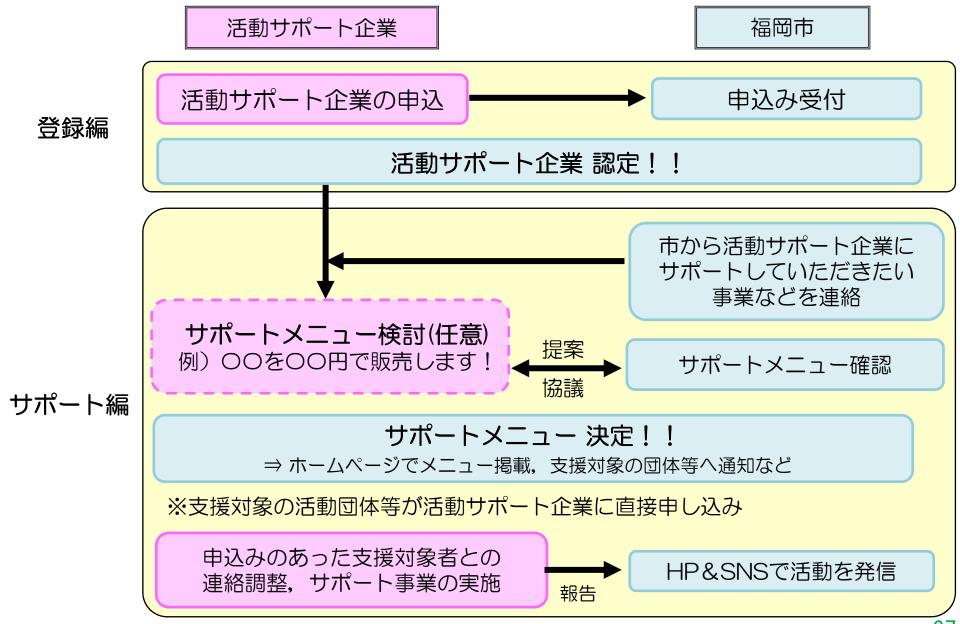
利用方法

- ・ホームページ等に掲載の サポートメニューを確認
- 利用したいメニューがあれば、 活動サポート企業へ直接申込

< 現時点で以下の企業等が登録 >

- ① (株)グッデイ ② エコマルシェオニヅカ(株)
- 環境演出家協会
- **4** GHB FUKUOKA EFFECT
- ⑤(株)日比谷花壇
- ⑥ (一社)福岡市造園建設業協会
- ⑦ (一社)福岡市緑化協会
- ※「活動サポート企業」は随時募中

~登録からサポート実施までの流れ~



【現状】3エリアで3つのメニュー

機会

場所

都心部等

①スポンサー花壇 主に企業対象 人通り: 大 道路・公園のみ



②ボランティア花壇 主に活動団体対象 人通り:中〜大 道路・公園のみ



花だけでなく

'緑"もOK!

全域(民有地)

<u>③パートナー花壇</u> 誰でもOK 道路沿いであればOK 私有地・公有地どこでもOK



「一人一花運動」の今後の展開

持続可能な仕組みづくり

花の価値・花が持つ力, 花づくりが何を生み出すかなどについて, 理解し, 実践する人が増える

【定着に向けて】持続可能な仕組みづくり



















マッチング 発信











『花で共創のまちづくり』が実現した フラワーシティ福岡



